

# 活動報告書

報告者氏名： 馬場 梓 所属： 中学部 記録日：2013年 2月 25日

## 【対象児（群）の情報】

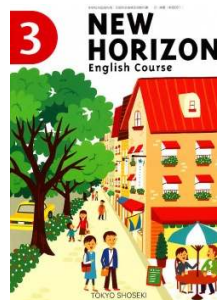
- ・ 学年  
中学部 3年 女子
- ・ 障害名  
脳性まひ
- ・ 障害と困難の内容  
英語では、聞き取った内容を英語の音声の特徴をつかんで発音するのが難しく、円滑に発音できないことが多い。  
読めない、書けない単語が多い。

## 【活動目的】

- ・ 当初のねらい  
強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、新出単語や教科書の内容を正しく聞き取り、発音する。
- ・ 実施期間  
2012年9月～
- ・ 実施者  
英語担当者
- ・ 実施者と対象児の関係  
担任、英語担当

### 【活動内容と対象児（群）の変化】

- ・対象児（群）の事前の状況
  - ・準ずる教育の課程に在籍しており、学習意欲は高い。
  - ・英語では、聞き取った内容を英語の音声の特徴をつかんで発音するのが難しく、円滑に発音できないことが多い。
  - ・単語の読み間違いが多く、単語テストでは間違った読みで書いてしまうことが多い。
- ・活動の具体的内容
  - ・新出単語と教科書の本文を教師が iPad (Audio memos) に録音し、寄宿舎に持ち帰り生徒が聞いて発音し、授業の予習、復習をする。
  - ・正しく発音してから単語練習を行う。
  - ・スピーチ原稿作りでの単語調べ。
  - ・スピーチ発表時に録画し、自己評価に使用する。
- ・対象児（群）の事後の変化
  - ・教科書を読む場面では、対象生徒が遅れて読みがちであったが、iPad で予習を行うようになってからはつかかりや読み間違いが減少し、スムーズに読めるようになった。
  - ・正しく発音してから単語を書く練習を行ったので、毎回の単語テストで点数が上がった。
  - ・生徒自身、iPad を使用してから、読めるようになったと実感しており、英語学習のモチベーションが上がりつつある。



### 【報告者の気づきとエビデンス】

- ・主観的気づき
  - ・受験生ということもあり自主学習で負担にならない使用ができないか考え、教師の録音を聞いて発音するというシンプルな学習方法を取り、他の学習の妨げにならないように10分程度で行えるようにした。また、強勢、イントネーション、区切りなどに生徒が気付けるように、CDよりゆっくり発音したものを録音した。そのように生徒にあった使い方をしたことで成果が見えやすくなったように感じる。生徒の読めた、書けたという実感がさらに学習の意欲を高めた。
  - ・スピーチを発表し終わったすぐに見ることで、自分がどのように話していかかがわかり、良かった点と改善点を容易に知ることができた。
- ・その他エピソード（画像などを含めて）
  - ・タイピングが苦手だったので、「タイピングの神様」というアプリを使って練習を行った。寄宿舎や学校での休み時間にゲーム感覚で練習することができた。

